

あいさつで、安全・安心なまちづくりを

佐倉東部地区社会福祉協議会 会長 小玉 克哉

東部地区の皆様、この度佐倉東部地区社会福祉協議会会長を拝命致しました小玉です。常日頃から地区社協の活動にご理解とご協力を頂きましてありがとうございます。

佐倉市千成に住んで35年、82歳の人生の中で佐倉が一番永くなりました。やっと我がふるさとなったように思います。

私は北海道苫小牧市に34歳までおりましたが仕事の関係で内地(北海道では、そう云います。)にやって来ました。その頃は生意気だったと思います。会長職は二度目ですが、少しは大人になったかなと思っています。

故真部前会長の意思を引き継ぎ清正とやっていくつもりですが、それには皆様のご協力とご支援が無くては、おずかしい事だと思っています。只、誰のため、何のためと云う事は二度の経験から解っているつもりですので気負いなく淡々とやっていきたいと思っています。

コロナの影響で福祉活動も制約されていましたが、やっと以前のように戻りつつある中、一人ひとりの自主的な対策が必要ですが頑張っってやっていこうと思っています。

よろしくお願ひ致します。

最後に皆様のご健勝を祈念して挨拶とさせていただきます。

私たちは住民同士があいさつを交わし、お互い様の精神で、助け合いの出来る安全で安心して暮らせる街づくりを目指して活動をしていきたいと思っています。

「あいさつをしよう」

皆さんの参加をお待ちしています。